

第5回北川村保小中学校運営協議会 概要

- 1 日時 令和3年1月29日（金）18:30～20:00
- 2 場所 北川小中学校多目的ホール
- 3 参加者 ■運営協議会委員：11名
阿部委員、田所委員、井津委員、西岡委員、濱渦委員、中村委員、大寺委員、
小松委員、田中委員、山崎(和)委員 山崎(美)委員
■事務局：7名
田中教育長、西岡次長、百々次長補佐、牛窓教頭、五百蔵教頭、鶴和教諭、
利岡教諭 合計18名

4 内容

(1) 3学期の保育所・小中学校の活動について（資料1参照）

(2) 学校評価について

- ・道徳意識調査や学力調査等の結果を報告

(3) 子育て教育ビジョンについて

- ・今後の部活動のあり方についてニーズ調査結果報告（資料2参照）

→近隣町村の部活動への参加については、賛成が過半数を超えており、ニーズはあるという結果であった。また、年間を通じて週4～5日程度、学校の部活動と同等の活動日が設けられている外部スポーツ団体に所属する生徒は、本校の部活動に所属しなくてよいという方針に対しては、子どもがやりたいことに集中できるようにしてあげたいなど、賛成の声が多かった。全校部活動体制については、その意義や放課後の有意義な使い方などを考えて、賛成の意見が多かった。

今後は、次年度近隣町村への部活動を希望している生徒や保護者に詳細な情報を伝え、意思を確認していくこととした。

- ・子育て文教エリアのあり方についての今後の方向性（資料3参照）

→老朽化しつつある施設の現状に加え、学校の建て替えも含めた魅力ある子育て文教エリア整備に向けて、ハード面だけではなくソフト面における検も行い、将来の「村づくり」という視点で基本計画を策定していく。

検討の際は、村民や教職員だけではなく、子どもの意見を取り入れるためのワークショップを開催する他、民間資金の活用や防災機能などの検討を行うため、外部の有識者や専門家を招いた策定委員会を並行して実施したい。

いずれにしても、地域とともにある保育所・学校の実現に向けて、村民の声を丁寧にお聞きしながら検討を行う方向で確認。